

アマエビ資源 伸び悩みか



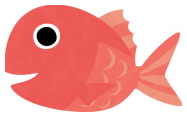
石川県では調査船白山丸によるアマエビの資源調査を年に2回実施しています。その結果によると、今年のアマエビの県内漁獲量はピークであった2015年よりは減少したものの高水準を維持しているとのこと。しかし近年の高水準の漁獲高は2014年に生まれた大量のエビに支えられての事らしく、**2014年以降の発生量は低水準が続いていることから漁獲量が伸び悩み可能性**が出てきました。

マダコの完全養殖



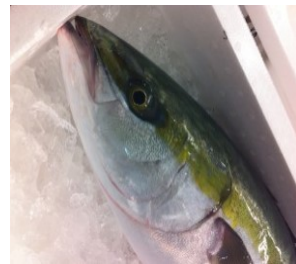
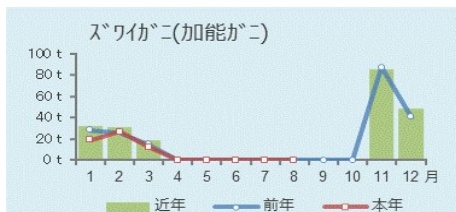
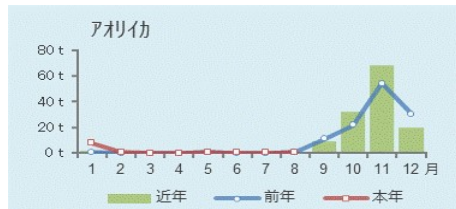
マダコの完全養殖にスペインの水産企業が成功しました。2023年を目途に養殖マダコの販売を始めたいそうです。タコが成長するには水温、塩分濃度、海流、餌などベストな海洋条件に合致させるのが難しいそうですが、**マダコ生存率は1万分の1のところ、その企業の養殖環境下における生存率は50%と高水準**だそうです。マダコは大西洋や地中海、モーリタニアに多く生息しており、主にスペインやイタリア、ギリシャ、日本で消費されています。寿命は2～3年。近年のマダコ需要が国際的に増える中、期待が高まっています。

入荷状況&商品情報



10、11月

甘エビ
◎ブリ
◎ガスエビ
ササカレイ
メギス
◎アオリイカ
アマダイ
バドグロ
ミズウオ
◎ベニズワイガニ



底引き網漁解禁後は台風の影響で入荷も低調でした。秋に入りガムドの体が大きくなってきます。身質も良くなってきます。量的にも期待できそうです。ガスエビは少し期待できるでしょうか。昨年を上回る推移をしています。アオリイカは昨年並みの推移が見込まれます。ベニズワイガニは近年低調傾向で今年も弱含みか。